

第1回 NIE「わたしの推し記事」コンクール 高等学校 最優秀賞

中村 暖（愛徳学園高等学校3年）
私の推しは、「明石市」です！

選んだ記事：神戸新聞 2023年4月19日付

見出し：「ひっぱりだこ飯」からヒョッコリ パパたこストラップ発売 観光協会が淡路屋とコラボ

①この記事を選んだ理由と考えたことを書いてください。

私が住む明石市は神戸市の隣にある市と呼ばれることが多く、きわめて存在感の薄い市である。私の大好きな明石市をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと考えていたときにこの記事を読み、明石市の魅力が詰めこまれていると感じたので、是非とも全人類に目を通してもらいたい。

②あなたの「推し」について、ファンをもっと増やすためにはどのようにしたら良いでしょうか？宣伝方法やアイデアなどを具体的に（誰に、どんな風に、どうしたらいいかなどを）書いてください。

私の推しは人やモノではなく市なので宣伝方法が難しいが、私は「明石市の魅力弁論大会」を開催することを提案したい。参加者は年齢も性別も不問、条件は「明石市が大好きであること」のひとつだけ。参加者それぞれの視点で語られる明石市の魅力を聞けば、明石市をよく知らない人も興味を持つに違いない。優勝者に贈られるのは勿論「パパたこ」のぬいぐるみストラップと美味しい淡路屋の「ひっぱりだこ飯」だ。私はもしこの企画が実現したら、絶対に初代王者になりたい。推しの魅力を語るのがファンの使命だろう。第一回の会場は市が誇る歴史的観光地の一つ、明石城。盛り上がること間違いなしである。

「ひっぱりだこ飯」からヒョッコリ

パパたこストラップ 発売

観光協会が淡路屋とコラボ



「パパたこ」と「ひっぱりだこ飯」のコラボぬいぐるみストラップを手にPRする明石観光協会職員
|| 明石市東仲ノ町

が同社の看板商品「ひっぱりだこ飯」の容器から顔を出しているデザインだ。

ひっぱりだこ飯の発売25周年記念。同協会との企画は一昨年11月、茶色の容器を赤色に変えて限定販売した「パパたこ版ひっぱりだこ飯」に続き2回目。ストラップは縦約10センチ、

横約6センチ。ファンがSNSでパパたこのぬいぐるみを、容器に乗せて投稿したことに着想を得たという。同協会は「偶然にもサイズがぴったり。そのままデザインにつながった」といい、「お土産に、明石のPRにぜひ買って」と話している。税込み1500円。同協

会のほかJR明石駅前の「あかし案内所」、淡路屋JR西明石店、オンラインショップの「明石メルカート」 「淡路屋」でも購入できる。
(松本寿美子)

明石観光協会（明石市東仲ノ町）は、弁当製造販売の淡路屋（神戸市東灘区）

と共に観光PR隊長「パパたこ」のぬいぐるみストラップを開発した。パパたこ